

大分大学医学部附属病院 形成外科 専門医養成プログラム

1. プログラムの概略・特徴

形成外科専門医養成コースは、認定施設研修と教育関連施設研修を合わせた4年間の研修を経験し、5年目に専門医試験を受験するコース設定となっている。1～2年目は認定施設である大分大学医学部附属病院で研修し基本的な知識・技術・態度を習得する。その後、専門性のある教育関連施設ローテーションしながら、指導医のもとで執刀医を行い、専門的な知識と技術を習得する。

2. 研修目標

【一般目標】

形成外科専門医取得を目標とし、この研修を通じて形成外科専門医にふさわしい知識・技術・態度・習慣を身に付けることを目標とする。

【行動目標】

1. 患者およびコメディカルとコミュニケーションがとれる。
2. 医師としての基本的診察・手技ができる。
3. 患者の訴え、診察所見、検査所見より病態を理解し治療方針を決定できる。
4. 適切な創の管理ができる。
5. 形成外科的皮膚縫合法ができる。
6. 形成外科的疾患の診断・治療が実践できる。
7. 皮膚移植や皮弁移植による再建術を理解できる。
8. マイクロサージャリーの技術を習得する。
9. 形成外科専門医に必要な知識を理解する。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
研修例	大学病院		関連病院		大学病院、関連病院、国内外留学			

4. 評価

上記九つの行動目標について各々、a, b, c, dの4段階評価を指導医および研修医師本人により行う。

5. 募集人員

5名

6. 実施責任者

大分大学医学部附属病院 形成外科 診療科長 藤原作平

7. 指導責任者

大分大学医学部附属病院 形成外科 診療科長 藤原作平

8. 関連施設、学会認定状況

日本形成外科学会認定施設： 大分大学医学部附属病院形成外科、大分岡病院形成外科、
大分医師会アルメイダ病院形成外科、健和会大手町病院

9. その他

研究:移植後の拒絶反応や創傷治癒のメカニズムの解明、新しい手術法の開発など行っている。移植の研究においてはマイクロサージャリー技術のトレーニングが可能である。また、皮膚科教授指導による皮膚病理の勉強会や、同種異系間複合組織移植研究、創傷治癒研究などの基礎研究を通じて、病態を論理的に理解できる形成外科医を養成できるようプログラムされている。

10. 連絡先

清水史明

大分大学医学部附属病院形成外科

Tel 097-586-5882

Fax 097-586-5889

e-mail fumi@oita-u.ac.jp